

Title	ワークショップの企画運営と実践のために： 移動型ワークショップミュージアム『キッズティピ』の意義
Sub Title	Management and practice of the workshop : meaning of "Kids tipi" mobile workshop museum
Author	佐竹, 和歌子(Satake, Wakako) 中村, 伊知哉(Nakamura, Ichiya)
Publisher	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
Publication year	2009
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2009年度メディアデザイン学 第20号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40001001-00002009-0020

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

修士論文 2009年度（平成21年度）

ワークショップの企画運営と実践のために

ー 移動型ワークショップミュージアム『キッズティピ』の意義 ー

慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科

佐竹 和歌子

修士論文 2009 年度（平成 21 年度）論文要旨

ワークショップの企画運営と実践のために

ー 移動型ワークショップミュージアム『キッズティピ』の意義 ー

芸術や文化的な側面から子どもの創造性を育成するための教育の重要性が社会的に認識されている一方で、その教育機会は学校や家庭など子どもを取り巻く現況において不足していることが喫緊の課題としてあげられる。本研究では、社会との新しい関わり方であるワークショップを通じて、子どもにとってのクリエイティブな体験をより身近にする環境を提案する。

本研究は、イタリア REMIDA の取り組みとレッジョ・エミリア・アプローチの教育理念から着想を得て、地域の営みにおいて子どもの創造性を育む場づくりをワークショップという方法で行う。そこで、日常の中に非日常のクリエイティブ空間を作り出す『キッズティピ』という移動型のワークショップミュージアムを制作した。『キッズティピ』は昔でいう広場に訪れる紙芝居屋や各地を巡業するサーカス団のように、子どもの探究心や好奇心を刺激する仕様となっている。子どもは、目の前に並べられた多種多様な素材・材料群から好きなものを手にとり、創作を行う。

本実践では、『キッズティピ』本体の制作と『キッズティピ』で実施するワークショッププログラム『ガラクタコラージュの図鑑づくり』を試行した。活動を継続していくために、ワークショッププログラムの評価手法として共有性・記録性・即興性・複製性の 4 つの評価軸を用いた。今後の展開として『キッズティピ』は、地域の営みの中で公共的な問題の解決を担うシステムとして機能する可能性を持つことが提示された。

キーワード

1. 子ども
2. 地域
3. ワークショップ
4. 創造力・表現力
5. クリエイティブ体験

慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科
佐竹 和歌子

Abstract of Master' s Thesis Academic Year 2009

Management and Practice of the workshop
- Meaning of “Kids tipi” mobile workshop museum -

Kids Tipi is a mobile workshop museum designed to develop and bring up children's creativity and power of expression. This truck will move to the places such as schools, supermarkets, kindergartens, etc, carrying tools for workshop and cultural activities.

Recently, various educational programs are executed at various places outside school, to develop children's creativity and their power of expression. It is socially acknowledged, it is important that various group and organizations are making the chances of the workshop "experience hand-made" "creating something themselves", and "touching the real materials"

Now I make assumption that it is necessary to execute various workshops for children to develop the power of expression and creativity and I search an effective way to support the extension and the development of the workshop.

Key Words

1. Children
2. Community
3. Workshop
4. Creativity
5. Creative experience

Keio University Graduate School of Media Design
WAKAKO SATAKE